

社会福祉法人八陽会

(1) 総括

八陽会は40年目の節目を迎えました。役職員一丸となり核となる理念を基に、福祉サービスの担い手として社会福祉法人の役割を果たしていけるよう、ガバナンスの強化・財務規律強化・経営情報の開示・地域における公益的な取り組みの実現を役員・職員で取り組んで参りました。

①理事・評議員の機能の充実

役員会・評議員会を定期的に開催しそれぞれの役割を担うべく事業運営に携わって参りました。

②介護人材の確保

各種学校での活動や就職情報サイトでの活動を継続し実施。外国人技能実習生への取り組みとして、情報収集し面接開始。また、介護助手事業の取り組みを継続。高齢者のマンパワーを活用する仕組みづくりの検討が今後更に求められる。

③「介護認証制度」取得を目指し、令和3年度に取得する事を目指す

人材育成の取り組みを充実させる事に重点を置き進める。継続し課題に取り組む。

④福祉充実計画を踏まえ、地域貢献事業をより充実させ公益な取り組みを行う

令和9年度までの充実計画は、中期事業計画内容と重複している為、役員間で充分審議を重ね今後も進めていく。

(2) 次世代育成支援の取り組み

生活と仕事の調和（ワークライフバランス）を図る事を目的とし、職員一人ひとりが意識を持って取り組んでいけるよう啓発する。

①休暇取得の為の取り組みとし、計画的有休の付与・連続休暇を継続

計画的有休の付与は働くモチベーションを保つツールとなっている。計画的に付与する事で確実に連続休暇を消化する事ができ、かつ他の有休休暇の取得がしやすい環境になり全体的に有休取得率が向上している。有休取得率 60.64%

②労働時間縮減の取り組みとし、時間単位の有給取得及びノー残業デイを普及（毎週火曜日）

ノー残業デイを公言する事で意識的に時間を気に掛ける傾向が窺える。勉強会等を交え更なる啓発に努める。

③休暇取得、労働時間に対する意識改革を目的とし、各部署による勤務管理を継続し定期的に学習会を開催

各部署で勤怠管理を実施して3年。公休・有休・労働時間・時間外時間の違いを把握できた。今後もより理解を深め時間外の内容を精査する事に取り組む必要がある。

(3) 資格取得支援の取り組み

職員がキャリアアップし質の向上を図る事を目標としています。介護職員は、処遇改善加算Ⅰを算

定している場合、キャリアパス要件は義務付けられています。八陽会では、資格取得者をサポート・応援していきます。

①学習支援とし、各種研修を閲覧。

今年度は学びの情報提供は少なかった。

②時間的支援とし、試験受講・受験日の勤務調整を行う。

資格取得の為、勤務調整実施。

③経済的支援とし、介護支援専門員の更新研修費用支給。資格取得の為の受講料の貸付（介護実務者研修等）。又、処遇改善による資格手当支給（介護福祉士・介護支援専門員・初任者研修）。

資格手当対象者52名に支給、総額411万円。

④資格取得後、祝品を支給。

資格取得者0名

(4) 地域貢献事業

①社会貢献

・経済的支援（法人減免） 利用事業所4事業所（5名、総額31万円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
修光園(入所)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
修光園(短期入所)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
デイサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパー	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
サテライト(個室)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サテライト(多床室)	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6
サテライト(短期入所)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	23

・介護予防教室

例年、職員が地域へ出向き介護予防教室を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の為、実施を見合わせた。代わりに情報提供のチラシを作成、配布し交流を図った。

<十日市>

年月	内容	配布先
令和2年9月	介護予防情報（免疫力アップについて） マスク配布	八重坂ひまわり会 十日市老人クラブ 新田寿会

<サテライト>

年月	内容	配布先
令和2年11月	サテライト通信発行（自宅で出来る体操）	石手洗地区
12月	”（壁掛けリース作り）	
令和3年1月	”（正月遊び今昔）	
2月	”（感染症予防）	

3月	〃	(筋力アップ体操)
----	---	-----------

②地域交流

- ・例年、地域に出向いて皆様とふれあう、施設を開放する、奉仕活動を行う等、開かれた施設を目指し様々な交流活動を実施している。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、実施を見合わせた。

③人材育成・人材派遣

- ・施設では感染対策の為、ご家族の面会を含め、外部からの施設内立ち入り制限を実施。その為、ボランティアや施設体験、慰問等については受け入れを中止した。実習生については、職員と同様の感染対策に留意できる場合のみ受け入れ実施。

・専門学校への講師

年 月 日	学 校 名	氏 名
令和2年7月16日	八戸社会福祉専門学校	相馬 郁子

・委員の派遣

年 月 日	学 校 名	氏 名
令和2年7月29日	八戸市ボランティアセンター運営委員	菊地 雄大

・シニアはつらつポイント事業

令和2年度 受け入れ無し

・ボランティア

<サテライト>

期 間	名 称	内 容	人 数	日 数
1月15日	松永直己氏	雪掻きボランティア	1名	1日
合 計			1名	1日

※他事業所は受け入れ無し

・訪問団体

<ホーム>

月 日	名 称	内 容	人 数
10月21日	長流寺住職	物故者慰霊祭	1名
合 計	1団体		1名

※他事業所は受け入れ無し

・実習生

<サテライト>

月	名 称	期 間	人 数
7月	福祉施設職場体験実習（社協）	7月18日～26日	1名
8月	青森県立保健大学	8月3日～18日	1名
	八戸社会福祉専門学校	8月31日	3名
9月	八戸社会福祉専門学校	9月1日～25日	3名
	青森県立保健大学	9月3日～18日	1名
10月	企業学習	10月5日～16日	2名
2月	野沢瞳子氏	2月24日～28日	1名
3月	野沢瞳子氏	3月1日～9日	1名
	八戸学院大学短期大学部	3月8日～23日	2名
合 計	6団体		9名

※他事業所は受け入れ無し

・施設見学・体験学習等

令和2年度 受け入れ無し

・介護助手事業実施

体験者 9名 うち第2回目雇用2名

(※第一回目より継続雇用者2名)

・広報誌作成

情報発信と当園のPRを行うことを目的としている。

月	内 容
7月	広報誌「きずな」135号発行
12月	広報誌「きずな」136号発行

(5) 新採用職員育成計画 実施状況

①新人職員研修プログラム

入社時の新人研修は実施したが、感染対策の為、配属先以外での体験や1年を通しての研修は実施できなかった。職員同士が集まる場が少ない中、同期メンバーでの仲間意識や楽しみを持つ機会を作れなかった事も、人材定着に繋がらなかった要因の一つではないか。次年度は感染対策に留意しながら、プログラム通りに実施していく。

②OJTの実践と役割の明確化

各事業所でOJT担当職員を配置し面談を進めていくという流れが以前より定着してきている。OJTの実践を通して挙げた課題を主任も把握したうえで、指導担当へのフォローも適宜行っている。今後も継続していく。

③チェック表を用いての業務修得度の共有

業務全般のチェック表を作成し、新人職員に使用する事ができた。業務で不安な部分を項目毎に確認し合う事で、新人職員だけでなく担当職員も修得度を把握でき、業務のステップアップの判断材料として活用できた。今後も使用状況を確認しながら、ステップアップの際の不安軽減につなげていく。

④外部研修受講の活用

対象職員1名。今年度は受講できず、次年度受講予定。

(6) 階層別人材育成の取り組み

①階層別研修の実施

コロナウイルス感染対策の為、外部講師を招いての研修は取りやめ、職員が大人数で集まる研修は当面中止とし、研修の開催方法を再検討した。年度後半からは、各事業所毎に集まり主に動画視聴による研修会を実施。必須となる研修を優先して行った為、階層別研修の実施までには至らず、プログラム通りの実施が出来なかった。研修内容に沿った動画を探す作業にも時間を要し、研修に使用する素材の確保については今後も検討が必要。

・法人内研修

<全体研修>

No	年 月 日	研 修 内 容
1	令和2年10月28日	個人情報保護について
2	11月25日	①コロナウイルス・感染症対策について ②虐待について
3	12月23日	身体拘束について
4	令和3年1月27日	介護現場におけるハラスメントについて

<課題別専門研修 特養部門>

No	年 月 日	研 修 内 容	
1	令和2年10月28日	①感染症対策について ②看取りについて	
2	11月25日	不適切ケアについて	
3	12月23日	虐待予防について	
4	令和3年1月27日	誤薬対策について	
5	3月24日	①身体拘束について ③褥瘡予防・除圧の仕方	②口腔ケアについて ④事故対策について

<夜勤業務前研修>

No	年 月 日	研 修 内 容	講 師
1	令和2年10月29日	①夜間の急変時対応	杉本睦
2	12月20日	②エンゼルケアについて	

<課題別専門研修 デイ部門>

No	年 月 日	研 修 内 容
1	令和2年9月14日	デイサービスでの感染予防について

<課題別専門研修 ヘルパー部門>

No	年 月 日	研 修 内 容
1	令和2年9月21日	ヘルパーの感染対策について

<課題別専門研修 高齢者支援センター部門>

No	年 月 日	研 修 内 容	講 師
1	令和2年6月30日	感染症について	林崎絵里香
2	12月23日	介護予防支援について	福士 冬芸

<新人・新任職員研修>

No	年 月 日	研 修 内 容	講 師
1	令和2年 3月25日~27日	新人職員研修	藤巻沙緒理
2	8月3日	新任職員オリエンテーション	藤巻沙緒理
3	10月14日	新任職員オリエンテーション	藤巻沙緒理
4	12月16日	新任職員オリエンテーション	坂本 奨
5	12月21日	新任職員オリエンテーション	高橋亜希子

・外部研修

<十日市>

No	年 月 日	研 修 内 容	場 所	氏 名
1	令和2年8月5日	介護助手事業説明会	青森	中村雅美
2	8月31日 ~9月4日	青森県認知症介護実践研修	八戸	坂本 奨
3	9月8・17・25日	介護職PR冊子制作に伴うワーキンググループ	八戸	藤巻沙緒理
4	9月25日	安全運転管理者講習会	八戸	下屋敷佑亮
5	10月26日	整備管理者講習会	八戸	下屋敷佑亮
6	10月28日	感染症対策合同研修会	八戸	高森康太郎
7	11月13日	青森県認知症介護実践研修報告会	八戸	坂本 奨

8	12月2日	パワーハラスメント説明会	八戸	中村雅美
9	令和3年1月26日 ～1月27日	ユニットリーダー研修（リモート研修）	八戸	苫米地恭佑
10	1月27日	「歩みだそう！外国人と共に働く共に学ぶ」研修	八戸	坂本 奨
11	2月2日～3日	ユニットリーダー研修（リモート研修）	八戸	上野哲平

<居宅介護支援事業所>

No	年 月 日	研 修 内 容	場 所	氏 名
1	令和2年8月27日	認定調査従事者新任者研修	青森	福田恭子
2	9月9日	地域ケア個別会議(福寿草支援S主催)	八戸	木村順悦
3	令和3年2月5日	認定調査従事者現任者研修	八戸	木村順悦・高橋彰太 福田恭子・立場真紀子
4	3月10日	大館、東地区圏域ケアマネサロン	八戸	木村順悦
5	3月11日	事例検討会：zoom (さんぱち、ひばりの里、社会福祉事業団、ポラリス、修光園)	八戸	高橋彰太・福田恭子

<サテライト>

No	年 月 日	研 修 内 容	場 所	氏 名
1	令和2年10月28日	感染症対策合同研修会	八戸	李澤修大
2	12月23日 1月28～29日	ユニットリーダー研修（リモート研修）	八戸	山田弘文
3	1月20日 2月2～3日	”	八戸	高橋泰代
4	2月8・25・26日	”	八戸	植木彩夏
5	2月10・18・19日	ユニットケア施設管理者研修（リモート研修）	八戸	李澤修大
6	2月22日 3月4～5日	”	八戸	中村由美子

<高齢者支援センター>

No	年 月 日	研 修 内 容	場 所	氏 名
1	令和2年4月30日	虐待事例検討会	八戸	日戸雄一
2	8月7日	生活支援コーディネーター情報交換会	八戸	林崎絵里香
3	8月11日	訪問看護体験型研修	八戸	福士冬芸
4	9月29日	青森労災病院地域連携セミナー	八戸	高奥佳代子
5	9月29日	認知症地域支援推進員連絡会	八戸	日戸雄一
6	9月30日	包括的支援事業研修会	八戸	福士冬芸
7	10月6日	高齢者支援センター管理者打合せ	八戸	林崎絵里香

8	10月7日	医療と介護の多職種連携意見交換会	八戸	福士冬芸
9	10月7日	主任介護支援専門員更新研修	青森	日戸雄一
10	10月15日16日			
11	10月20日21日			
12	10月27日28日			
13	11月2日			
14	10月24日	高次脳機能障害に関する講習会	八戸	林崎絵里香
15	12月16日	認知症総合支援検討会	八戸	日戸雄一
16	12月17日	包括的支援事業研修会	八戸	福士冬芸
17	12月18日	認知症地域連携懇談会	八戸	日戸雄一
18	令和3年1月20日	包括的支援事業研修会	八戸	福士冬芸
19	1月20日	認知症初期集中支援チーム員研修	八戸	林崎絵里香
20	1月27日	医療と介護の多職種連携研修会	八戸	福士冬芸
21	2月10日	地域における介護予防創設について	八戸	高奥佳代子
22	2月17日	八戸市地域ケア会議推進会議	八戸	高奥佳代子
23	3月18日	管理者打合せ会議	八戸	日戸雄一

②次世代のリーダー育成

階層別でのキャリアパス評価シートを作成し、2年度から活用し始めている。年2回の面談も実施。今後も継続していく。

③中途採用職員育成

前年度と比較し、定期的な面談の実施は出来ている。これまでの業務内容と比較しギャップを感じる事や不安な点を、入社後早い段階で確認し合う事も出来てきた。今後も継続していく。

(7) 防災対策

<十日市>

実施日	訓練内容・出火場所	参加者
令和2年10月16日	コロナウイルス感染拡大防止の為、出勤職員を対象に、避難訓練・消火訓練・通報訓練について口頭指導実施。	職員5名（お客様0名）

<サテライト>

実施日	訓練内容・出火場所	参加者
令和2年4月6日	コロナウイルス感染拡大防止の為、新採用職員を対象に、避難誘導・避難経路・防火扉の操作・警報機の確認方法を説明し	職員9名（お客様0名）

(8) 令和2年度 修光園行動計画実施状況

職員が仕事と子育てを両立させることができ、職員全体が働きやすい環境をつくることによって、全ての職員がその能力を発揮できるように次の行動計画を策定する。

1) 計画期間 平成31年4月1日から2年間

2) 内容

①産前産後休暇や育児休暇、給付金、社会保険料免除などの制度の周知や情報提供を行っていきま
す。

<対策>

- ・パンフレットを配布する
- ・個別面談を行い、情報提供を行う

対象者：男性2名、女性3名実施

②計画的有休を継続していきます

<対策>

- ・職員へ周知するためのポスターを掲示
- ・計画的有休の説明を会議等で発信し、検討していく

対象者取得率：100%

